



## 緑の募金事業候補応募書

令和 3 年 12月 14 日

公益社団法人 国土緑化推進機構  
理事長 濱田 純一 殿

応募者の名称等 NPO法人「農ある暮らしを広める会」  
〒 259-0123  
住 所 神奈川県中郡二宮町 二宮133  
法人・団体の名称 NPO法人「農ある暮らしを広める会」  
代表者氏名 二見幸夫  
TEL 090(8007)9966

下記の活動を行いたく、「緑の募金」の「SDGs貢献使途限定募金」による支援を希望しますので、事業候補に応募いたします。

### 記

#### 1. テーマ (募集規則に定められたテーマのうち特に該当するもの1つを記載)

安心安全な生活環境の保全への貢献

#### 2. 事業名 (簡潔に記載。20字以内)

住民参加の山水回復とレジリエンス向上

#### 3. 事業目的 (この事業を行うことで解決したい課題等を具体的かつ簡潔に記載。60字以内)

風水害のリスクの高まる中、小山群の沢は枯れ、森が荒れ、獣害が進み、風土と関わらない生活で住民は孤立、疲弊している。危機感を持った環境団体は高齢化し存続の危機。

#### 4. 事業内容 (募金者の作業参加を含め、何をどれだけ実施するのか等、簡潔に記載。

複数年の事業の場合、全体計画の位置づけも明示し、別途全体計画のわかる資料を添付)

林業専門家の支援を得て地域の小山郡の山林整備、沢、谷戸の棚田再生。かながわ生き生き若者大賞を2020年に受賞した「もりびとNOA」と、また二宮町と複数の町内環境団体の繋がる「環境dフォーラム」主催の「ぼくたちわたしたちの地球会議」シリーズで2022年は子どもから大人までの山林整備ワークショップも行う。関わる裾野を広げながら専門的なナラ枯れ対策として早期に伐採し、薪や椎茸の櫓木に活用、結果として間伐し森に光が入り土中環境をよくするという循環を創りたい。さらに関わる山林を拡充し事業を広げたい。

(注) SDGsへの貢献について、別添に記載してください。

## 5. 事業場所（位置図を別途添付）

①神奈川県中郡二宮町川匂字蔵海道200②  
（所有者）二見安子  
②神奈川県中郡二宮町二宮1075-2  
森田秀子

全体面積	2	ヘクタール
実作業面積	0.8	ヘクタール

## 6. 現地の状況（別途説明付きの写真、地図・図面等を添付。必要に応じて参考資料を添付）

木は大きくなりすぎて陽光がささず以前より土砂崩れが危惧されている斜面。また続く農地は年度かし耕作不能。当該法人が進めた竹林整備、山道整備現場は日が入り風が通り農地の土壌環境が改善している

## 7. 事業実施希望期間

令和4年2月1日から令和5年1月30日まで

## 8. 事業実施スケジュール（特に、募金者の現地での作業参加の機会を明記）

時期	内容
令和4年2月	山林整備及びエコフェスタワークショップオリエンテーション開催準備
令和4年3月	吾妻山谷戸の沢整備ワークショップ、山林整備、ナラ枯れ対策事業
令和4年4月	山道づくりワークショップ開催、山林整備、ナラ枯れ対策事業
令和4年5月	ラディアンホールに於けるフォーラムで発表{基調講演中村桂子氏}

## 9. 事業完了後の取組成果の展開予定

（事業完了後の維持管理（主体、内容、期間等）や成果を踏まえた新たな展開について記載。必要に応じて参考資料を添付）

山水の啓発、山林整備実践を通して多世代の仲間を増やし、薪、炭、椎茸栽培、竹の利活用（竹パウダーコンポスト利活用含む）を法人の循環型事業に位置付け、町内環境団体、町とのプラットフォーム事業に位置付ける。さらに学校教育、福祉団体と連携して町ぐるみの都市近郊の自然と関わる暮らしのモデルとなる連帯した動きに繋げる

## 10. 資金計画書

区分		予算額 (千円)	内訳
収入 の 部	緑の募金交付金	2,000	
	自己資金	100	会費、朝市収入、寄付
	その他助成金	1,000	緑の募金助成、地球環境基金
	合計	3,100	
支 出 の 部	行動費	200	車両貸借費
	環境整備費	700	大径木伐採、高所伐採、地拵、チラシ・ウェブ
	資材費	300	機械借上げ費、作業器具購入費
	資材等運搬費	100	車両借上費
	指導者経費	500	林業専門家、造園専門家、樹木医
	事務費	200	企画、調整、
	交付金計	2,000	
	自己資金等計	1,100	
合計	3,100		

(注1) 自己資金等には他団体からのその他助成金を含めてください。

(注2) 募集規則の「交付対象経費」一覧で適切な科目区分をご確認ください。

(注3) 交付金での支援決定の前には、上記一覧の細分毎の額を提出いただきます。

## 11. 応募者の概要

法人・団体の設立年月日	2019年12月（法人）、2017年10月（団体）
連絡先 電話番号	090-2147-0134
F A X 番号	0463-71-1359
E - m a i l	<a href="mailto:ein03stein1649@ozzio.jp">ein03stein1649@ozzio.jp</a>
ホームページ	<a href="http://new-ninomiya.com/">http://new-ninomiya.com/</a>
会員数	140名
活動目的	日本古来の循環する山水・農ある暮らしを取り戻す
主な活動内容	荒廃地開墾・自然農講座・沢、棚田再生、山林整備
主な活動地域	神奈川県中郡二宮町
主な森林整備及び緑化推進活動の実績（具体的な数値を記載。「緑の募金事業」によるものは明記。必要に応じて参考資料を添付）	2019年子ども達の未来の森づくり事業、次世代の森づくり人材育成事業、地球環境基金助成。自然農講座二宮農園」5期目、子ども農園等、5つの圃場を、落花生再生事業支援、原木椎茸、ハーブ、綿、沢棚田再生を行う。山林整備は若者団体と協働で川勾地域に1h、吾妻山沢再生、倒木処理、ナラ枯れ調査を進め、町と協働するフォーラム開催。

## 実施事業のSDGs（持続可能な開発目標）への貢献について （整理表）

この整理表は、予定される事業のSDGs（持続可能な開発目標）への貢献について確認するものです。

1. SDGsの17の目標のうち、予定事業が、その達成に貢献する目標にチェック「✓」をしてください。（複数チェック可）
2. チェックのある目標について、その達成に貢献する具体的な活動を記入してください。
3. 申請に当たってのテーマ以外も含めて記入ください。

SDGsの目標		チェック	貢献する具体的な活動を記入
1	貧困をなくすこと	<input checked="" type="checkbox"/>	遊休荒廃地を再生、毎年自然農講座新規受講者増やし農地再生、菜園に関わる方々の食料自給に貢献
2	飢餓をなくすこと	<input checked="" type="checkbox"/>	同上、さらに牧山、炭焼き、椎茸栽培を持続、展開させお金でない食料を地域に循環させる準備をしている。
3	健康であること	<input checked="" type="checkbox"/>	部農薬、無肥料の完全に自然の力を活かし、人間の腸内環境を改善、さらに土、自然に関わることで健康増進効果を広げる
4	質の高い教育	<input checked="" type="checkbox"/>	未来に向けて真の社会的課題解決を地域の風土を学びながら子どもたちを真中に学ぶ機会をつくる
5	ジェンダーの平等	<input checked="" type="checkbox"/>	古来から女性が刈や農で社会の中心的役割を果たしていたことが発見されつつあるまたジェンダーとは自然であることを学び、本来の意味をぶことが有効な課題解決の手法であり、自然に関わることこそ人々を目覚めさせる効果がある。
6	清潔な水と衛生	<input checked="" type="checkbox"/>	山の学びは水の学びである。沢の水質検査も含め、微生物と共存する真に安全な生活を自然から学ぶことが出来る
7	再生可能エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/>	かつて二宮の小山群は薪山であった。古来の循環するエネルギーを実践し、また町内外太陽光発電市民会社とも連帯して（ぼくたちわたしたちの地球会議・気候危機フォーラム）持続可能なエネルギーに係る地域の学びを進めたい。
8	適切な良い仕事と経済成長	<input checked="" type="checkbox"/>	「日本列島回復論」の著者出日本総研のフロントランナーとともに活動を進めている。山水という日本の宝を如何に活かし、利益を享受できるか地域の学びを進めたい。
9	新しい技術とインフラ	<input checked="" type="checkbox"/>	二宮は山、立、川、海おすべてを見渡す風土を持ち、海岸の砂浜の激減とコンクリートによる治水事業の限界を憂慮する立場からもこの風土に関わることで評価する目を養うことが出来る。
10	不平等を減らすこと	<input checked="" type="checkbox"/>	自然に関わることで人間社会の不条理に敏感になる。また結の仕事コミュニティ^ですること平等の意味を深めることが出来る
11	持続可能なまちと地域社会	<input checked="" type="checkbox"/>	山水の仕組みと価値をないがしろにしてきた事実に向き合い、人と風土の関わりを見直すことが真の持続可能性を生む土台で、人は自然に繋がることが出来る。
12	責任を持って生産し、消費すること	<input checked="" type="checkbox"/>	これを教えるのがまさに自然であり循環である。生活環境課と共同事業で子どもから大人まで啓発してきたエコフェスタにのみやを躍進させるカウンターパートとなる
13	気候変動への対策	<input checked="" type="checkbox"/>	同上。気候危機フォーラムも協力。山林整備は地上の植生及び地下の根と莫大な菌類の活性化により、二酸化炭素吸収に資する。
14	海のいのちを守ること	<input checked="" type="checkbox"/>	古来から山が海の命に直結することが知られケアをされてきた。このような循環する自然を見る目を地域から培いたい。
15	陸のいのちを守ること	<input checked="" type="checkbox"/>	沢と棚田の再生で目に見えて生物多様性に資すると実感がある。山林整備についても生物多様性調査をしてさらに周知したい。
16	平和で公正な社会	<input checked="" type="checkbox"/>	自然に関わるコミュニティがいかに平和に敏感で協動的であるかに私達は気付いている。アフガニスタンで中村哲氏が行った功績のすそ野にあると感じて着る。
17	目標のために協力すること	<input checked="" type="checkbox"/>	私達は町内のコミュニケーション不足で反目しがちな団体や地主とコミュニケーションをとり、地域の理解を得てきた。子どもと自然がすべてを繋ぐと確信している

（注）SDGs（持続可能な開発目標）は、貧困や格差、気候変動、海・陸の豊かさなどのさまざまな問題を抜本的に解決することを目指す、世界共通の17の目標です。  
詳しくは、国連広報センターのサイトや国土緑化推進機構のサイトのハンドブック等をご参照ください。

[http://www.unic.or.jp/activities/economic\\_social\\_development/sustainable\\_development/2030agenda/](http://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/)

<http://www.green.or.jp/about-us/sdgs/>